



特集

糖尿病の慢性合併症について

甲状腺・糖尿病内科部長：石森正敏

厚生労働省の平成 26 年度の調査では、男性の 15.5%、女性の 9.8%で糖尿病が強く疑われるとの結果が出ています。

糖尿病はインスリンという血糖値を下げるホルモンが足りなくなったり、効き目が悪くなったりして、血糖値が高い状態が続く病気です。そして、この状態が続くと、色々な臓器に障害が出てきます。これが糖尿病の慢性合併症です。以下に代表的な合併症について記載します。

[糖尿病網膜症]

眼の奥の光を感じるところを網膜といいます。この網膜に存在する無数の細かい血管が糖尿病で障害され、色々な変化を起こし視力障害の原因となります。レーザー治療や手術などの治療がありますが、かなり重症になるまで症状がないこともよくあり、年間 3,000 人もの方が網膜症のために失明しています。糖尿病の方は症状がなくても必ず眼科にも受診するようにしましょう。

[糖尿病腎症]

腎臓は血液をろ過して老廃物を尿として排泄しているところです。この腎臓のろ過装置である糸球体の細かい血管が糖尿病により障害を受けます。まず微量のアルブミンというたんぱく質が尿に出はじめます。そのうちに大量のたんぱく質が尿に出ようになり、血液中のたんぱく質が失われてむくみや心不全の原因となります。また、十分なる過ができなくなると体の中に老廃物がたまり尿毒症になります。最終的には人工透析が必要となりますが、平成 26 年には全国で約 16,000 人の方が糖尿病腎症のために人工透析が開始されました。

[糖尿病性神経障害]

高血糖の持続が原因で神経が障害され、手足のしびれや、立ちくらみや胃腸障害などが起こります。

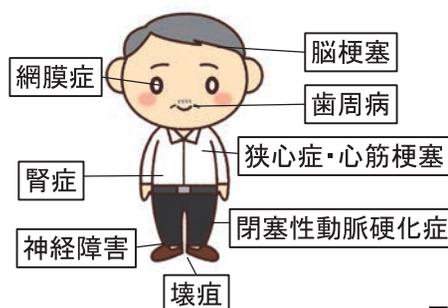
[動脈硬化]

糖尿病になると太い血管も障害され動脈硬化を生じてきます。心筋梗塞や脳梗塞などが糖尿病のない人に比べて数倍高い頻度で起こってきます。

そのほかにも、糖尿病には歯周病や足の潰瘍や壊疽など色々な合併症が存在します。しかし、糖尿病は重症になるまではほとんど症状のない病気です。まずは発見することが大切です。健診を受けていない方はまず健診を受け、もし、異常が指摘されたら必ず受診をしましょう。糖尿病は治療の継続が非常に大切です。異常を指摘されたけど放置している方や治療を中断してしまっている方はすぐに医療機関を受診してください。

当院では皆様の糖尿病治療に少しでもお役に立つように毎月 2 回糖尿病教室を開催しています。当院に通院中でない方やご家族の方にも参加していただけます。詳しくは当院ホームページを検索してください。

糖尿病の主な合併症



岐阜赤十字病院糖尿病療養支援チーム
<http://www.gifu-med.jrc.or.jp/daisapo/>



がんリハビリチームとは

当院では、入院中のがん患者さんで、医師がリハビリテーション（以下リハビリ）を必要とした方を対象に、がんの進行や、その治療の過程で生じた移動・歩行・セルフケアなどの障害に対して、医師・看護師・理学療法士・言語聴覚士等のスタッフが訓練をおこないます。



早期離床のリハビリ



呼吸器合併症のリハビリ

がんリハビリチームの主な活動

外科・内科（血液内科・呼吸器内科）の患者さんを中心に病期に応じて予防的・回復的・維持的および緩和的リハビリを行っています。外科では術前呼吸訓練・術後早期離床訓練を、内科では治療に伴う筋力・体力低下の予防、呼吸訓練、活動性・QOLの維持・向上を目的としています。



自転車エルゴメーター等を利用した筋力強化



平成 28 年熊本地震の救護活動を終えて

平成 28 年 4 月 14 日前震・4 月 16 日本震が起これ、活断層による最大震度 7 の強い揺れが繰り返し襲い、市街地から山間部までの広い範囲に被害が発生しました。熊本県内で甚大な被害があった「平成 28 年熊本地震」から早いもので 100 日が経過しましたが、7 月 31 日をもってすべての活動が終了し、日本赤十字社熊本県支部災害対策本部が解散されました。

当院においては、「平成 28 年熊本地震」に際し、熊本県を支援するため救護班（7 名）及び熊本赤十字病院看護師支援（5 名）・事務業務支援（1 名）及びこころのケア要員（1 名）の職員、計 14 名の派遣を行いました。

現地入りをした救護班・支援員が目にしたものは亀裂の入った道路や、倒壊した家々が多くあり、今回の地震での被害の大きさを感じておりました。

救護班は、日本赤十字社熊本県支部に向かい熊本県上益城医療圏の避難所へ派遣され診療を実施しましたが、避難所となっていた体育館の館内は多くの被災者の方々があり、廊下もすれ違うのがやっとの状況で、運動場も陸上トラックに沿ってテントが張られており、その中で生活をしている方や、駐車場で車中泊を行っている方で溢れていました。（避難所の避難者数は 5/5 時点で約 160 名、駐車場には約 100 台の車が駐車され、車中泊者は約 200 人）熊本赤十字病院支援要員は熊本赤十字病院に派遣され、災害救護の最前線で懸命の活動を続けている熊本赤十字病院の職員を診療面から支援し、こころのケア班では熊本県西原村に派遣され長引く避難所生活を送っている被災者や被災者支援をしている役場職員の方々の傾聴やリラクゼーションなどの予防的なストレス低下支援等、心身のケアを行いました。

まだまだ、地震の傷跡が癒えず断続的に余震が続いている中、一日も早い復興と平穏な生活に戻られることを心からお祈りいたします。



医師紹介



川村 紘三
外科医師

6 月 1 日から赴任しました、外科の川村です。消化器・一般外科を中心に頑張っていきます。



被災者との心のふれあい



救護所での診療



こころのケアでハンドマッサージ

連携医療機関

おざわクリニック



院長 小沢 尚俊
副院長 小沢 敏子

所在地	〒500-8263 岐阜市茜部新所 3-54-2 ☎ 058-274-6681	
診療科目	内科・循環器科 心療内科・アレルギー科	
休診日	水・木・土曜午後・日曜・祝日	

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●	△
午後 5:00 ~ 7:00	●	●	△	△	●	△	△



家内と共に岐阜市民病院で主として循環器科を担当していました。家内が先に、その15年後に2人でおざわクリニックを開きました。生活習慣病がほとんどですが、守備範囲が広がりまどうことも度々でした。開業するに先立って心がけたことは、時に世間でよく言われているような町医者イコール低レベルの医療、プライマリアケア即ち何でも屋をさけることでした。つまり、できるだけ患者さんに時代の診療レベルに近い医療サービスを提供する事でした。その為、患者さんの選別に配慮して他科患者は当然、内科域でも守備レベルを超えた場合は積極的に専門医を紹介することでした。医療連携を利用することは独善的な診療に陥るのをさけると共にあらゆる方面の専門家の意見、教示の蓄積となり医療サービスする上の財産となって日常診療に反映されていると思っています。このことで、少しでも初心に近づけるのではないかと考えています。

さとうファミリークリニック



院長 佐藤 裕信

所在地	〒501-0434 本巣郡北方町小柳 1-95 ☎ 058-323-2511	
診療科目	内科・小児科・外科・皮膚科 訪問診療	
休診日	土曜午後・日曜・祝日	

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	△
午後 4:00 ~ 7:00	●	●	●	●	●	△	△

※ 診療科によって、診療曜日・時間が異なりますので、ホームページまたはお電話にてご確認ください



本巣郡北方町にあるクリニックです。昭和58年1月に佐藤外科として開院しました。平成13年に小児科を併設、平成25年には内科を併設し、さとうファミリークリニックとして再スタート致しました。そしてこのたび、平成28年7月に皮膚科を併設致し、現在は内科・外科・小児科・皮膚科の4科で診療を行っております。各科それぞれ4人の医師により、専門性の高い医療を提供し、地域に根ざしたクリニックとして貢献できればと考えています。体に関する事、何でもお気軽にご相談頂けたらと思います。

● かかりつけのお医者さんの紹介状をお持ちください

かかりつけのお医者さんの紹介状があると、患者さまの病気の経緯や服薬の内容などがよく分かり、診察がスムーズに行えます。かかりつけのお医者さんをお持ちになりたい方は、当院医師から紹介させていただきますので、お気軽にお申し出ください。

紹介予約 月～金曜日 午前9時～午後7時
受付時間 土曜日 午前9時～午後0時30分

紹介状をお持ちの方は地域医療連携センターにて予約を承っています



外来診療予定表

平成 28 年 9 月 1 日現在

Mission statement

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

病院の理念

人道・博愛の赤十字精神のもとに、
人々の健康の回復や維持に寄与し、
地域や社会に貢献します。

病院の基本指針

1. 私たちは、安全で安心な医療を提供します。
S (Safety)
2. 私たちは、心のもった態度でのぞみます。
H (Hospitality)
3. 私たちは、互いに敬意の念をあらわします。
R (Respect)

各種指定・認定

地域医療支援病院
岐阜県地域災害医療センター
岐阜県第 1 種感染症指定医療機関
岐阜県第 2 種感染症指定医療機関
岐阜県救急告示病院
岐阜市病院群輪番制指定病院
臨床研修病院
病院機能評価 Ver.6

岐阜日赤ニュース第 50 号をお届け
します。今回は糖尿病をテーマに
取り上げました。皆様の健康管理
にお役立てください。

各地で台風災害が相次いでいます。
被災された方の生活が一刻も早く
元に戻るよう願うばかりです。

科名	月	火	水	木	金	
内科一般 (初診)	松下	澤田(道)	長島	伊佐治(1.3.5週) 川地(2.4週)	白井	
総合診療科	—	—	高橋(典)	—	—	
消化器内科	名倉 (初診紹介予約)	高橋(裕)	小川	名倉 (初診紹介予約) 松下	名倉	
循環器内科	長島	鈴木	鷺見	長島	吉田(明) 泉 (腎臓内科)	
呼吸器内科	伊藤(文)	天野 (8:50-10:50)	澤田(昌)	—	—	
甲状腺・糖尿病内科	石森 (初診紹介予約) 伊佐治 川地	中村 (初診紹介予約) 石森 伊佐治 (初診紹介予約)	川地 増田(輝)	中村 (初診紹介予約) 石森	石森 伊佐治	
血液内科	—	—	澤田(道)	—	—	
外科 大腸肛門科	1 診	林	林	栃井	林	栃井
	2 診	川村	栃井	川村	丹羽	高橋(啓)
	3 診	丹羽	高橋(啓)	—	—	—
精神科 (完全予約制)	再診	—	—	宮原	藤本	—
眼科 (完全予約制)	1 診	小島	吉田(則)	市川	市川	小島
	2 診	澤木	澤木	—	澤木	澤木
整形外科 (予約制)	初診	大橋	—	—	野々村 (初診・再診)	溝口
	再診	溝口	野々村	—	溝口	大野
	再診	榮枝 (初診紹介予約)	大野 (初診・再診)	—	大橋	榮枝 (初診紹介予約)
耳鼻咽喉科	1 診	小塩 (休診の場合有)	小塩	小塩	小塩	小塩
	2 診	増田(祐) (9:00~)	増田(祐) (9:00~)	—	吉真 (10:00~)	吉真 (10:00~)
泌尿器科	藤広	三輪	守山	三輪	守山	
皮膚科	脇田	脇田	脇田	脇田	脇田	
脳神経外科	岩村	岩村	榎本	岩村	岩村	
産婦人科 (完全予約制)	永原	永原	永原	永原	永原	
放射線科	後藤 (地域連携予約)	後藤 (地域連携予約)	後藤 (地域連携予約)	後藤	後藤 (地域連携予約)	
麻酔科	—	山田	—	—	—	

《専門外来》 完全予約制

ピロリ菌外来：月曜日 高橋(裕) 医師

児童精神外来：月 2～4 回木曜日 井川医師

ウロギネ外来：火曜日 守山医師 水曜日 三輪医師

月 2 回 月・金曜日 非常勤医師

《午後》

小児科：火・金曜日 (13:30～16:30)

●各診療日の担当医師につきましては、学会等により代診・休診とさせていただく場合がございます。

〒502-8511 岐阜市岩倉町 3 丁目 36 番地

TEL 058-231-2266

FAX 058-233-7772

休日・夜間受付用 FAX 058-231-3132

地域医療連携課 FAX 058-231-3026

ホームページ http://www.gifu-med.jrc.or.jp/

E.mail renkei@gifu.email.ne.jp

受付時間 午前 8 時 30 分～ 11 時 00 分 (午後は予約制)

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始 (12/29～1/3)・創立記念日 (5/1)

※ 救急の場合はこの限りではありません。



岐阜赤十字病院

